

恐山菩提寺

日 程：令和7年7月9日

下北半島は、学生時代以来で、当時大学の合宿で湖畔に TENT を張ってくつろいでいると、突然のスクールに見まれ、ずぶ濡れで食堂に転がり込んで泊めてもらったことを思い出す。

四十数年前の事であるが、念のため昔の事を聞いて回ったが、当然の様子が分る人はいなかった。

現在の恐山菩提寺の前は、広い駐車場が整備され宇曽利湖畔も護岸工事され当時の面影はなかった。

入山料 700 円で入ると、寺の左後方は、周回コースが整備され一周1時間弱で周回できた。

山門



地藏堂



地藏堂より山門を望む



奥の院 不動明王へ至る階段より地藏堂・山門その向こうに宇曽利湖を望む



左後方 菩提大師堂



八角堂と宇曽利湖



大尽山を望む



三途川

大間崎

日 程：令和7年7月9日

恐山菩提寺を参拝後、本州最北端の大間崎へ。



大間崎灯台



本州の末端で記念撮影



民宿みやの

日 程： 令和7年7月9日～10日

大間崎に近い佐井村「民宿みやの」 1泊2食付 8,000 円で安い、マグロの刺身を始めとするテーブル一杯のごちそう、しかも酒類持ち込みOK。



二階の部屋からの日の入り〔望遠〕

仏ヶ浦

日程：令和7年7月10日

縫道石山を下山後、仏ヶ浦の駐車場まで三十数分で到着。

海岸まで十数分で到着、ちょうど観光遊覧船が付いていて多くの観光客で賑わっていた。

30分ほどして遊覧船は出航。



駐車場から仏ヶ浦へ下る木道



たまたま帰りの草むらにいたかわいいネズミ〔望遠〕





遊覧船の船着き場



福寿荘

日程：令和7年7月10日～11日

仏ヶ浦から近くの福浦の「福寿荘」 1泊2食付 8,470 円。

井一杯の動いている生ウニにびっくり、後にはウニ丼も出てきてウニ尽くしの料理に大満足。

4月から8月頃までウニはあるとのことだが、シーズンによっては浜によってばらつきがあり、特に7月は、民宿でも収穫可能となり安くウニが提供されるとのことであった。



ウニ丼



生ウニ



福寿荘 夕食風景



食べ終わったウニの殻

横浜八幡神社

日 程：令和7年7月11日

下北の脇野沢港から出港するむつ湾フェリーが欠航となったため、宿泊していた福寿荘から陸路むつ市経由で青森県の西側に位置する、ブナ林散策路があるアクアグリーンビレッジへ車を走らせた。

むつ市を過ぎたところで、休息を兼ねて横浜八幡宮に参拝。

本堂天井の龍の図が印象に残った。



参道



本堂



本堂 龍の天井図を真下で鑑賞

岩木山神社

日 程：令和7年7月11日

アクアグリーンビレッジまで30分少々で、行ける位置であったため立ち寄ってみた。

参道の頭上に岩木山が望めた



中門



今年の干支 巳の絵



中門の天井図



龍神の天井画〔望遠〕



下向きの狛犬は、恋愛運アップ・上向きの狛犬は、金運アップとのこと

7月12日アクアグリーンビレッジで、ガイドさんとのブナ林散策を終了後、午後青森空港から羽田に向かう予定であったが、天候は良かったにもかかわらずかなり待たされた後、飛行機が欠航となり右往左往して結局、急ぎよ青森市内での宿泊となった。

翌日、取り直し航空便で無事北九州空港へ到着した。

11日のむつ湾フェリーの欠航と、12日の青森空港でのフライト欠航に見舞われたものの、予定していた登山と観光地は全て行くことが出来、終日天候に恵まれた充実の山旅であった。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura